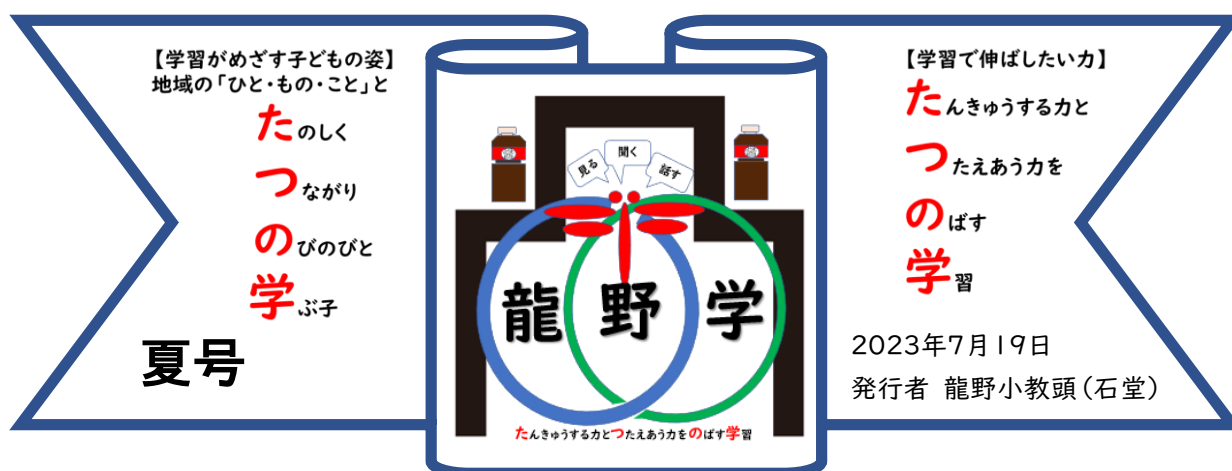




龍野小学校の校歌が制定されて「100 年」です

龍野小学校の校歌(作詞:三木露風,作曲:山田耕筰)は、1921 年(大正 12 年)に制定されました。今年(2023 年)は、校歌制定 100 年にあたる記念の年です。3 年生以上の子どもたちが学習するけいろうタイム(総合的な学習の時間)の初回オリエンテーションでは、「鶏籠のみどり とこしへに(露風直筆に合わせました)」の部分から、鶏籠山をはじめとした自然の風景について考える時間を設けました。また、5 年生は、お城と醤油のつながりを考える際、2 番の歌詞にある「歴史の跡もいと著るく 物産富みて誉あり」から醤油について思いを巡らせる時間を設けました。

ここで、三木露風作詞の校歌について、ふれておきたいと思います。市の資料(令和元年 10 月 24 日付)によると、三木露風が作詞した校歌は、本校をスタートに 12 校あり、主に 1 番が自然環境、2 番が歴史文化の様子、3 番が校訓等で構成しているそうです。

学び舎のある自然及び歴史文化の環境を広くとらえ、そして学び手に注目した三木露風。本校も、龍野学を進めるうえでもよい資料となったこの校歌を、大切に歌い続けるとともに、そこに込められた思いも語り継ぎます。

.....

1 学期のそれぞれの学年のけいろうタイムの様子を紹介します。

[3 年生] カラタチの木のアゲハを飼育しよう

3 年生のみんなは、身近な生き物に注目することから、最終的に「赤とんぼ」について研究しようとしています。まず、みんなが注目したのは、カラタチの垣根にいる幼虫でした。ここには、ナミアゲハの幼虫がたくさんいました。5 月、右の写真のように、みんなで垣根を歩き、幼虫を探すと 2 齢幼虫から 5 齢幼虫までの 10 匹以上の幼虫を見つけることができました。

見つけた幼虫は、さっそく飼育ボックスで飼育しました。昆虫の飼育では、





たくさんの不思議なことと出あいました。たとえば、同じ飼育ボックスで飼育をしても、蛹の色が黄緑と灰色というように違うのです。みんなは、資料やインターネットで調べながら、「寄生」や「擬態」などの新たな言葉の意味も理解できました。ちなみに左の写真は、成虫になったナミアゲハにえさやりをしているところです。花のミツと同じ糖分の砂糖水をつくと、おいしそうに飲む様子を見ることができました。

ところで、地域の皆様にお願ひがあります。カラタチの垣根に興味をもった 3 年生のみんなは、校舎の北側にある岩石園(昭和 41 年度卒業記念)についても、知りたい思いをもっています。2 学期に学習をする予定です。ぜひ学校まで情報をお届けいただければ幸いです。(電話 0791-63-1371 FAX0791-63-2248)

[国語の時間の「手紙の書き方」をもとに作成した 2 グループの手紙]

※国語では「季節の言葉・目的・伝えたいこと・終わりの言葉」の構成を学びました。

地いきのみな様へ

朝顔がよく見えるきせつになりました。みなさんお元気ですか。わたしたちは元気 100%です。

わたしたちは、からたちや岩石園をきれいにする計画を立てています。その時に、地いきの方々の力がひつようです。わたしたちのことを手伝ってください。よろしくおねがいします。

わたしたちは、からたちや岩石園を守りたいので、ごきょう力おねがいします。

みなさんとわたしたちの力で岩石園をきれいにしましょう。がんばりましょう。

龍野小学校 3 年生より

地いきのみな様へ

太陽があつく、花がきれいですね。虫もいっぱいいますね。

わたしたちの目的は、岩石園をきれいにし、生物を生かしながらカラタチを守ることです。

ぜひ、岩石園やカラタチのじょうほうがあつたられんらくしてください。

いっしょに岩石園やカラタチのかきねをなおしましょう。

龍野小学校 3 年生より

[4年生] 龍野城に関するなぞを解こう

4 年生は「なぞ解き!龍野城」の学習を通して、龍野城をはじめ、脇坂上屋敷、武家屋敷資料館、龍野神社など脇坂氏とかかわる建物を訪れ、そこで自分なりの「なぞ(関心をもったこと)」を探し、それについて調べる学習をしました。

たとえば、「天守閣って何かな」と疑問をもった子がいました。この疑問はとてもおもしろい疑問だったので、4 年生みんなで考えることにしました。「天守」という言葉の意味を調べ、それをもとに、歴史資料館の館長さんにもインタビューしながら疑問を解決する様子は、まさに探究的な学習にふさわしかったです。

「龍野城は天守をもたない城」、「御殿が本丸だと上屋敷が二の丸」などたくさんの気付きは、しっかりと学習できた証拠ですね。



[5年生] 城と醤油のつながりを探ろう



きっかけは、龍野城から見たまちなみでした。そこに映る揖保川の流れと醤油工場の煙突は、脇坂のお殿様も見た光景です。5年生のみんなは、つながりを探るべく、大正ロマン館にある陶像（横山省三像 左の写真）を見たり、醤油資料館を複数回見学したりしました。

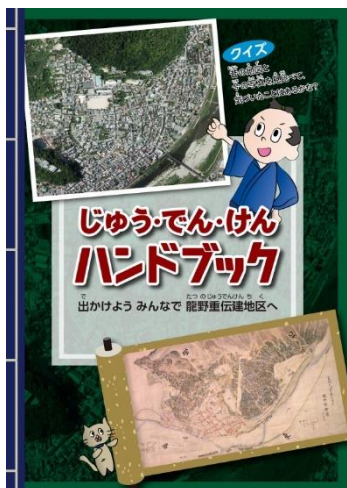
その過程で明らかになったのは、揖保川の存在でした。淡口醤油づくりに欠かせない揖保川の軟水に加えて、揖保川のおかげで高瀬

舟が運航できるのです。実際に使用されていた井戸や高瀬舟には、みんなも興味津々。

身近にある資料館によって、江戸時代から残る道具にふれ、それをきっかけに、みんなの問いの解決に向かう学習ができるのも、龍野地区のよさですね。



[6年生] 重伝建地区を歩こう



今年、重伝建地区を紹介した「じゅう・でん・けんハンドブック（龍野町並み保存会作成）」が完成しました。このブックは、6年生のみんなが重伝建地区について学習するための手引き書になっています。たとえば、上の写真は、関心のある事柄を付箋に書き出しているところです。6年生の社会科では、歴史を学習します。重伝建地区とかかわる江戸時代の学習は2学期ですから、それまでにちょっとした疑問や気づきを可視化しておくことは、後々の歴史学習で役立ちます。



右の写真は、6年生のみんなが、学校の南門から出発し、如来寺前を通り、大正ロマン館から学校へ戻るコースを歩いた時の様子です。まちにある旧町名や案内看板は、江戸時代のまちを知る手がかりとなります。「道がお城と商人のところで真っ二つに分かれているのを知ってびっくりしました。」といった子どもたちのコメントにあるように、この日歩いた道路が、まち屋と武家屋敷を分けている道路だと知って、驚く子どももいました。



「ふれあいのタベ」で待っています！

8月19日(土)に開催される「龍野ふるさとふれあいのタベ」では、6年生が2つの企画(「うちのプレゼント」と「連だこに思いをのせて」)をしました。

1つの目の「うちの企画」では、当日、円形のうちわ(材質は画用紙)にメッセージを書いてもらう予定です。ちなみにこのうちの裏側には、1学期学習した龍野学の学びシート(3年生から5年生のみんなが作成)を貼っています。例を挙げると、下のような作品(4年生の子どもが作成)です。配られたうちわにどんな学びが記載されているか、楽しみが増えますね。



お涼み所へ行きました。中へ入ると謎の通路がありました。石垣のような壁でした。更に奥へ行くと、たたみがいっぱいありました。でも、周りと明らかに違う小さなたたみがありました！気になったので係員さんに聞いてみました！！

いろいろと係の人に聞いてみたところ、あの通路はなんと！？お殿様の逃げ道だったそうです！！たたみの方も気になったのですが、詳しくはわかりませんでした。

今日わかったことは、謎の通路はお殿様の逃げ道だと分かりました。もっともっと調べたい事は通路は誰が作ったかです。お殿様が自分で作ったか家来たちが作ったかよくよく考えると謎が深まるばかりです！

4年 マツモツカ

2つ目の「連だこに思いをのせて」の企画は、来年度が創立150年目にあたることから、学校へのメッセージを書いていただくといった内容です。50枚の連だこを用意しています。多くの方にメッセージを書いていただき、新春(2024年1月)の市の凧あげ大会で大空に舞い上がる様子をみたいと思います。

最後に、6年生が作成したちらしです。1人でも多くの方に来場していただきたいと願い、紹介を終わります。

夏の楽しみ！
ふれあいのタベ
1家族1枚
うちわを配っています！
ぜひ来てください！

8月 19 土 Saturday
かどめ公園でします
～午後4時から午後8時20分まで～

龍野小学校6年生より

夏の思い出！
ふれあいのタベ
一家族に一つ
うちわを配ります。
ぜひ来てください。

8月19日土
場所：かどめ公園
龍野小学校6年生より